

総社市独自流会議

経済、自死対策を 基礎自治体の課題として 政策をまとめる

農政の地・食べ委員会に続き、「経済戦略」や「自死対策」など国の政策だとしていた課題を、基礎自治体の課題としてとらえ、総社市独自流会議として、新たに経済戦略会議と自死対策本部を立ち上げました。また、観光推進に観光ガイドを育成するための認定講座も開かれています。

独自流会議

基礎自治体を起点に地域経済の活性化を図る
総社市経済戦略会議
市の重要施策に経済的な提言を行う

市の重要施策の「障がい者千人雇用」「地産地消の地・食べ」「新生活交通の雪舟くん」などの施策の推進に、地域経済の活性化にもつながらる取り組みを示す「総社市経済戦略会議」が2月3日、発足しました。会議は、平成20年12月



第1回の総社市経済戦略会議。この日は総社市新生活交通の「雪舟くん」の4月以降の運行改善策について協議された。同様に今後は、障がい者千人雇用や地産地消の「地・食べ」などを対象に、そのときどきの課題を協議し、随時開催される

に発足した市景気問題等連絡調整会議が前身。市内の経済団体や企業関係、金融機関、市の施策の関係団体の代表ら18人の委員で構成します。

第1回は総合福祉センターで開かれ、委員16人が出席。この日は「雪舟くん」が協議課題で、より利用しやすい運行にするための改善策について意見交換が行われました。

委員からは利用者へのサービス向上策として、電子マネーや回数券の導入、若年層への利用促進などの意見が出ました。市では、これらの意見を踏まえ、4月実施の見直しを検討します。

問い合わせ 商工観光課 商工労政係 ☎ 8276

独自流会議

自殺を未然に防ぐ取り組みをまち全体で見守りや相談への橋渡し役の養成

自

死（自殺）を未然に防ぐ取り組みをまち全体で行おうと2月1日、総社市自死対策本部会議を立ち上げました。

同会議は市長を本部長に、民生委員児童委員協議会や愛育委員協議会、県、ハローワーク総社など9団体で構成。発足式となった第1回会議は総社市保健センターで開かれ、各団体の代表と市の幹部職員ら約30人が出席し、連携して課題を解決していくことを確認しました。

総社市内では平成22年に16人もの尊い命が自死によって失われました。会議は年2回のペースで開催。相談先や窓口の周知をはじめ、見守りや相



自死対策法部会議。この取り組みに関連し、2月9日に心の健康づくり講演会、同14日に自殺予防講演会が開催された。愛育委員や民生委員らが参加。自死防止への意識をもつことや、相談機関への橋渡し役の人材養成の大切さを考えるものとなった

独自流講座

総社を全国に発信するための人材を育成
吉備路観光ガイド育成認定講座
実習と筆記試験で認定を行う

総社を全国に発信するためには、総社を語る人の育成が必要と考えています。

吉備路ボランティア観光ガイド協会は、新たなガイドを育成するため、吉備路観光ガイド育成認定講座を開講。19人が受講し、観光地の基礎知識や案内のこつなどを学んでいます。

講座は全3回。鬼ノ城や宝福寺などでの実習を経て、3月4日に実施する筆記試験に合格すると認定されます。

初日の2月5日には、サンロード吉備路で開講式が行われた後、作山古墳と備中国分寺周辺で実習。受講生は、講師の現役ガイドから、「観光客の滞在時間に配慮を」

「ユーモアやクイズなどを説明に入れて」「歩くスピードに注意を」といった心構えや話し方などを学んでいました。

問い合わせ 商工観光課 観光プロジェクト係 ☎ 8277



作山古墳と備中国分寺周辺で行われた実習。受講生は、現役ガイドから案内の心構えや話し方などを学んだ。写真はこうもり塚古墳前